



第 355 号 平成20年 2 月 1 日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2 階

T E L (075) 256-0351

F A X (075) 241-3568

発行人 長 村 吉 朗

## 麻しん排除にかかわる問題

会 長 長 村 吉 朗

1月17日に医師会館で、麻しん排除にかかわる関係機関の打ち合わせが行われました。23名もの出席者で京都府教育庁指導部保健体育科、総務部文教課、薬務室、健康・医療総括室、京都市地域医療課、教育委員会、ワクチンメーカー、医薬品卸、京都府医師会、京都小児科医会と共に京都市学校医会からは私と林専務理事と、さらに小児科医会会長の立場で竹内常任理事が出席して話し合いを行いました。この話し合いの目的は、来年度より5年間のみ行われる中学1年と高校3年の年齢にあたるものに対しての麻しん・風疹混合ワクチン（MRワクチン）接種をいかにして行うかというものです。これに関して、年も押し詰まった昨年12月28日に出されました厚生労働省告示第442号に沿って、関係諸団体がいかにうまく連携をとって、出来るだけ多くの対象者にMRワクチンを接種できるかを話し合ったわけです。最近の厚生労働省の改訂や指示は時間的な余裕もなく、またその内容にも熟慮の後が見られないとの意見を以前にも述べたことがあります。今回の指示も又同様です。その上、実行の指示は出すがその裏付けとなる金は出さないと、全く人を馬鹿にしたものであります。今頃指示を出して、しかも4月から6月の間にMRワクチン接種を集中的に行えと言うだけではなく、後ほど述べますがそれ以外の多くの対象者に自己負担でワクチン接種を行うよう指導せよと言う内容まで指示されています。ワクチンの数量が足りるのか、またそれだけ多くの対象者に1時間20人のガイドラインの縛りの中でワクチン接種を行う医療機関が確保できるのか等全く考慮されてはおりません。今年は4月に健康保険の改訂を控

え、それと同時に特定健診・特定保健指導の実施も行わなければなりません。これらの内容についても、いまだに発表されていないか、不明な点が多く存在するにもかかわらず、このような思いつきを急に指示されても出来るわけがないだろうと言うのが私の正直な気持ちです。しかしながら、昨年度のMR2期の接種率が最終的に70.3%と全国ワースト2位であり、京都市は66.5%と京都府内において報告を行った市町村の中でワースト3位と言う現状で、厚労省の指示に怒って何もしないでいれば後で困るのは子どもたちです。その為に話し合いを持ったわけですが、上記の多くの部署からの出席者を見ても分かるように、縦割り行政の中で上手く折り合いをつけていくことがどれほど困難かは分かっていたでしょう。最終的には一人一人の医師が積極的に指導勧誘していくしか仕方ありません。

そこで学校医にとって行わなければならない内容を報告いたします。医師として行わなければならない、麻しんの届け出等の内容は今後の医師会よりの報告をお読み下さい。まず、中学1年と高校3年生に相当する年齢のもの（麻しん及び風しんに既に罹患したことが確実なもの、及びそれぞれの予防接種を2回接種したものを除く）を定期的予防接種に時間的に追加する事となりました。接種期間は年度でとらえるものとしますが、年度当初の4月から6月の間に積極的な勧奨を行うことが指示されました。また、既に京都市学校医会では行っておりますが、就学時健診時に罹患歴及び予防接種歴を確認し接種勧奨を行う事、また学校における定期健康診断時においても罹患歴及び予防接種歴を確認し接種勧奨を

行う事が指示されました。またそれ以外に多くの子どもと接する機会のある医療関係者、児童福祉施設等の職員、学校等の職員等に対し予防接種の勧奨を行うと指示されました。具体的には、教職員の健康診断の機会に罹患歴及び予防接種歴を確認し接種勧奨を行う事が指示されました。これらの内容は「〇〇に協力を求め、〇〇〇ものとする。」という、頼んでいるのか、命令しているのか分からない記載のため、怒りのあまり指示されましたとの記載が多くなり、読みにくいことをお詫びいたします。はじめに述べましたが、これらの指示は学校医に関するも

ののみでこれ以外に数多くの内容がありますが、これらにつきましては医師会の報告をお読み下さるか、学校医会の方に直接お問い合わせ下さい。

これらのMRワクチンの接種に当たっては、時間的なこともあり個別接種で対応することとなりましたが、接種率が不十分であれば学校での集団接種に踏み切らなければならないかもしれません。その際には、多くの学校医の先生方にご協力をお願いすることとなります。前もっておことわりを申し上げますとともに、これらの内容にご意見・疑問等が御座いましたら遠慮なくお申し出下さい。

## 第27回京都市小学生駅伝競走記録会

伏見南浜小 藤田克寿

第27回京都市小学生駅伝競走記録会が12月2日(日)に開催され、当日医務役員として参加しました。記録会には京都市内の121校、男女2400人が参加し、京都市北区の鴨川河川敷・出雲路橋、葵橋周回コース(1区間1,700m)を5区間走りました。当日は12月に入ったとはいえ非常に暖かく、かえって水分補給に気を使うほどのいい天気でした。朝9時に開会式が始まるのですが、今年は北大路橋周辺の整備工事のため、周回コースが橋一つ南にずれていたため、地下鉄北大路駅を降りてコースのあるはずの場所へ向かったところ、いつもの救護室を含むテントが見当たらないので少しまごつきました。

当日の結果ですが、男子は参加277チームで、御所南小が30分9秒の成績で優勝。女子は参加211チームで、嵯峨野小が31分31秒で優勝しました。

記録会中、大きな事故はなく、いつもの様に転倒による擦過傷の児童が数人救護テントを訪れました。最後になって、閉会式間際、同級生と河原で木の実を投げ合っていて、その木の実が右眼にあたり、眼の強い痛みを訴える児童が来ましたので、その児童は大事をとって京都市休日急病診療所に行ってもらいましたが、翌日の報告では特に大きな傷害ではなかったようです。

### 平成20年 校医・小児科医感染症講演会

- 日 時 : 平成20年3月15日(土) 17:00~19:00
- 場 所 : 京都全日空ホテル 2F 平安の間(堀川御池)
- 講 演 : 『小児HIV感染症の現状と

#### 日常診療における注意点』

大阪市立総合医療センター

小児救急科 部長 外川正生先生

## 第27回京都市小学生持久走記録会

専務理事 林 鐘 声

1月20日（日）、鴨川・出雲路橋、葵橋コース（約1,700m）にて開催されました。参加126校、男子1220人、女子861人の計2081人の6年生が参加し、男子33組、女子28組に別れて、開会式のあと9:00AMより競技は開始となりました。

当日、雪の予報がでていましたが、曇り、途中より冷たい小雨がパラッキ始め、次第に雨足が強くなり出した1:00PMに閉会式を迎えました。風は弱かったものの時間とともに気温が下がる寒い1日でした。

前日は公立高附属中や私立中の入学試験でした。京都府立洛北高附属中には428人（倍率5.3倍）、京都市立西京高附属中には960人（8倍）が受験し、他に私立中の多くも入試を実施しており、この時期の6年生は受験組、スポーツ組と分かれて忙しく過していますが、そのどちらにも組まない6年生はどんなことをしているのかとふと気になりました。

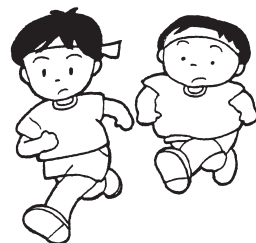
医務班として長村会長と私が出務しました。インフルエンザの流行は未だ本格化せず、感染性胃腸炎は峠を越えており、病気の少ない時期に当たっていたのは6年生にとっては幸いでした。とはいえ、始まってすぐに気分が悪いとして男子が医務テントに来ました。感染性胃腸炎の初期と考えテント内でしばらく暖をとり経過をみましたが、改善なく出場をとり止めました。スタートして半分の距離の対岸で突然にしゃがみ込んでしまった女子がいました。咳嗽と呼吸困難を訴えての事で、近くにいた校長がサポートしながら歩いてテントへ着いた頃には落ちついていました。AEDはテント内に用意していますが、もしAEDが必要な時には、対岸へ行くのに子ども達のように3分で走れるだろうかちょっと考えた事例でした。

今年は北大路橋が工事のため、橋を南へ1つ下げて競技を行った関係で、スタート位置が変わりました。女子はスタートラインが広くとれて、しかも1組30～31人、2列でのスタートが可能となり、そのおかげか、問題となるスタート直後の転倒は出ませんでした。スタート位置が異なる男子は女子ほど広くとれず、しかも1組37～38人のため4列のスター

トとなりました。スタート直後に6人の転倒事例がありましたが、砂利でなく砂地でグランドコンディションもよく、単独転倒例ばかりで、外傷の程度は例年に比べて軽く済んだようです。他の2人の外傷を含めて計10人の児童が医務テントを訪れました。

医務として出務した養護の先生からは女子トイレが30～40人と長い列をつくっていたとの報告がありました。トイレは葵橋、出雲路橋にあり、他に仮設トイレも準備していましたが、女子は主に葵橋の出雲路橋のトイレに集中していたためと思われる。確かに、緊張と寒さで需要が多かったものと思います。

北総合支援学校の児童も含めて京都市の6年生の約1/5の児童が参加した大会でした。各自の力一杯に走る姿、それを応援する友達、保護者の様子は、いつもながら当方の心を暖かくさせてくれます。勿論、上位の記録をねらって参加している大文字駅伝に出場する選手も数多くいました。男女のベスト10の記録が貼り出されているのを見ると、男子は1位から8位タイまでの10秒差のなかに11人、女子は1位から9位タイまでの8秒差のうちに10人と今年は断トツの選手はいなかったようです。この21人は16校（うち15校は大文字駅伝出場校）の児童、男女併わせて2人以上要している学校は4校（いずれも大文字駅伝出場校）でした。この数年にみられたような群を抜く学校はなく、今年の大文字駅伝は上位の力が均衡したかなりの混戦となることが予想されます。この原稿がでる時には既に結果は判っていますが、果たしてどうだったでしょうか。



## 第9回 常任理事会

平成20年1月26日  
於 事務局

出席者 長村会長、奥村・平位副会長、林専務理事、  
井上・藤田・竹内・蘆原・福持各常任理事、  
佐野眼科学校医会副会長、星谷耳鼻咽喉科  
医会理事

3. 第22回京都市小学校「大文字駅伝」大会  
2/10
4. 色覚相談 1/29、2/26
5. 精神衛生研究会 2/14
6. 心臓相談（水中心電図）2/20
7. 第41回京都市学校保健協議大会 2/26
8. ワンポイント相談 2/28
9. 第10回常任理事会 3/1 2:00pm
10. 感染症講演会「HIV感染症の現状」 3/15

### ・会長挨拶

#### <報告事項>

1. 麻疹対策準備調整会議 1/17  
今月号参照
2. 持久走記録会 1/20  
今月号参照
3. 色覚相談 1/22  
市内1名、府1名
4. 第41回京都市学校保健協議大会 分科会ごと打  
合せ会 1/29
5. その他

#### <協議事項>

1. 新任校医研修会日程について  
3月27日(木)
2. 新任校医研修会会場について  
こどもみらい館
3. 新任校医研修会プログラムについて
4. 麻疹対策について  
今月号参照
5. 平成19年度決算について
6. 京都市生涯学習情報検索システムについて
7. その他  
肥満とやせのマニュアルの改訂について

#### <関連学会・各種協議>

1. 腎臓相談 2/5、2/19
2. 第22回京都市小学校「大文字駅伝」大会  
開会式 2/9

